



特集

レンガタイルの外観でソテツ広場と一体感を持たせた「山の畑会館」(→P2)

特集① 開学70周年特集

特集② 名市大の医療提供体制の強化

特集③ 名市大の新型コロナウイルス感染症への対応

01 特集①／特集②

03 特集③

04 TOPICS

07 学生の活躍

08 国際交流

09 受賞関連

10 受賞関連／寄附顕彰

11 就任ごあいさつ／イベントカレンダー／教員著書・発行物紹介

2020年は開学70周年!

DONATION



開学100周年を見据え、学生会館の
リニューアルを始めとした各キャンパスの
施設整備などの記念事業を行うために、
皆さまからの寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

開学70周年特集

MESSAGE 学長メッセージ

「開学70周年に寄せて」

名市大は本年、開学70周年を迎えました。1950年に医学部と薬学部からなる公立大学として誕生し、1964年に経済学部、1996年に人文社会学部と芸術工学部、1999年に看護学部、2018年に総合生命理学部がそれぞれ設置され、現在では7学部7研究科からなる全国でも有数の総合大学に発展してきました。

2021年には名古屋市立東部・西部医療センターが附属病院となり、2025年には救急・災害医療センターが開設予定です。名市大がこのような飛躍してきたのは、教職員や学生はもとより、卒業生、保護者そして名古屋市からの温かいご支援のたまものと深く感謝しております。

一方、社会は、超少子高齢化やグローバル化に加え、デジタ

ル革命やイノベーション創出などSociety5.0の実現に向かい、新型コロナウイルス感染症を契機にパラダイムシフトが進んでいます。その中であって、名市大が、常に成長する指針として、「名市大未来プラン2021(仮称)」を教職員約100名により策定中です。

名市大は、これからも輝く未来に向かって歩んでまいります。皆様からの温かいご理解とご支援を謹んでお願い申し上げます。

名古屋市立大学 理事長 学長
郡健二郎

開学70周年記念式典の延期について

2020年8月5日(水)、新型コロナウイルス感染症を踏まえた開学70周年記念事業の計画などを審議するため、第3回目の実行委員会が開催されました。依然として感染症の終息が見られない中、本年10月31日(土)に開催を計画しておりました記念式典は、安全面の考慮と、来年の感染症の終息への期待、関係者が一堂に会し祝う一体感の醸成などを踏まえ、1年後の2021年10月に延期することとしました。その他にも、記念コンサートの延期などの計画変更が審議され、学生会館リニューアル、記念誌編さん、寄附金募集などの状況についても報告されました。来年も70周年のお祝いを、さらに盛り上げてまいります。

名市大の医療提供体制の強化

東部医療センター・西部医療センターの大学病院化に向けて

2021年4月に予定されている名古屋市立東部医療センター・西部医療センターの大学病院化に向けて、2020年10月に大学病院化準備室を設置し、準備を進めています。名古屋市立大学病院とあわせて3病院を一体的に運営することで、約1,800床の病床を擁し、国公立大学病院では全国最大の大学病院群となります。これによって、より適正な医師らの配置や、各病院の特長を伸ばした機能分担が可能となり、医療提供体制および専門・先進医療機能の強化が図られ、市民ニーズに応じた、よりの確かつ最高水準の医療を継続的に提供します。また、約1,800床を活かした多様な症例による臨床研究の推進や、臨床実習などを通じた医療人の育成を行うことに加え、東部・西部医療センターからも教員化した医師を地域の医療機関へ派遣します。地域連携を一層深めることで、より多くの市民の皆さまに高度で安全な医療を提供します。



名古屋市立大学病院



名古屋市立東部医療センター



名古屋市立西部医療センター

「学生会館リニューアル・オープニングセレモニー」および「令和元年度卒業生を祝う会」を開催!!

2020年10月31日(土)、滝子キャンパスの山の畑会館NCUホール(旧称:学生会館 大ホール)にて、開学70周年記念事業「学生会館リニューアル・オープニングセレモニー」を挙行了しました。また、コロナ禍で中止となった2020年3月の卒業式に代わる「令和元年度卒業生を祝う会」を同時開催しました。

当日は、感染症予防のため規模を縮小し、関係者や卒業生代表ら約40名が出席しました。また、ご参加いただけなかった方にもご覧いただけるよう、リアルタイムでの動画配信を行いました。



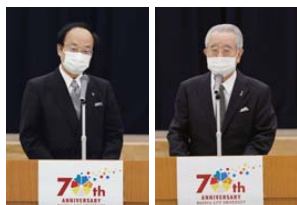
↑当日の動画はこちらから

※敬称略・所属は応募時点

オープニングセレモニーでは、まず郡健二郎理事長が「先人が歴史の中でご苦労されたことをかみしめ、深く感謝し、次の世代の若者に思いを託していきたい」と式辞を述べました。続いて、来賓を代表して名古屋市立大学交流会 土屋隆会長より祝辞を賜りました。

その他、学生会館リニューアルの内容や同会館2階に新設した「名古屋市立大学大学史資料館」の説明、学生会館の愛称・名称採用者の表彰(表参照)が行われました。最後には学生代表より、多大なるご寄附により学生会館が生まれ変わったことへの感謝の意が述べられ、式典が締めくくられました。引き続き行われた「令和元年度卒業生を祝う会」では、各学部の卒業生代表らが近況報告を行いました。在学中の学びを活かし、活躍されている姿を知ることができました。卒業生、修了生の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

場所	愛称・名称	応募者※	由来、想いなど	
学生会館	山の畑会館	山本 喜通 (医学部・研究科卒業生)	・山の畑の名前はアドレスには残っているが、滝子キャンパスの名称使用によって使われる機会が減ってきており、会館の名前として残すことには意義がある	
1階	生協食堂	そてつ食堂	早川 千冬(経済学部学生)	・ソテツ広場の目の前にある
2階	(仮称)ガイダンスゾーン	談話室	大場 敬正(経済学研究科学生) 岡 克樹(人文社会学部学生) 深見 太基(薬学部学生) その他1名	・わかりやすい ・そのままがいい
	大ホール	NCUホール	角田 達哉(人文社会学部学生)	・名市大の略称であるNCUを広く知ってもらえる機会になる
	(仮称)70周年記念センター	NCUラウンジ	伊藤 妃奈子 (人文社会学部学生)	・学生のみんなが集まれるところ
	(仮称)同窓会ゾーン	アイビールーム Ivy Room	伴 礼子 (名古屋市立保育短期大学卒業生)	・アイビー(英語でIvy)はつたの植物で繋がっていく ・つたは、「卒業生(同窓生)も伸びて歴史を積み重ねていくこと」、「友情、不滅、誠実などの花言葉をもつこと」からふさわしい。(応募はカタカナ表記であったが、英語表記に変更)



郡理事長 式辞 交流会 土屋会長 祝辞



後援会支援により整備されたNCUホールのステージ



新設された大学史資料館



展示の一部
名古屋市立女子高等医学専門学校 入学生「誓」

「大学史資料館」には、初代学長の戸谷銀三郎氏に関する資料や草創期の公文書、卒業生から寄贈された思い出の品々など、貴重な資料を展示しており、平日午前9時～午後5時まで、一般の方も自由にご覧いただけます。

救急・災害医療センター建設に向けて設計進行中

2025年度、名古屋市立大学病院に「救急・災害医療センター」の新設を予定しており、2022年の着工に向けて設計を進めています。救急・災害医療センターは、救命救急センターの拡大・充実とともに災害時にも稼働できる設備を備えた建物となります。また、医療人の育成にも資する施設として、同敷地内の西棟にある臨床シミュレーションセンター(※)も移転し、拡充していきます。

これからも名古屋市立大学病院が、市民の皆さまの安心・安全を守る「命の砦」となるように、よりよい病院を目指して、職員一同、邁進してまいります。

※臨床シミュレーションセンターは、愛知県全域からの医師、看護師、薬剤師、学生などを対象に、特に周産期・新生児・救急医療の向上を目指し、教育用シミュレーターを利用した研修を提供する施設です。



建設予定地

名市大の新型コロナウイルス感染症への対応

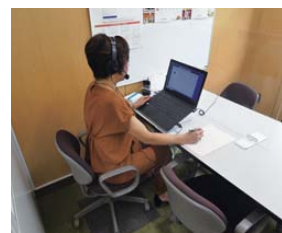
2019年末に中国から広まった新型コロナウイルスによる感染症。パンデミック(世界的大流行)を引き起こし、国境を超えて広がりました。日本では、2020年1月に初めて感染者が確認され、私たちの生活様式、働き方、教育や医療現場の風景を一変させました。今回の特集では、これまでの本学の取り組みを振り返ります。

今年度の授業実施について

2020年4月22日(水)から遠隔授業または課題研究による授業により、前期の授業を開始しました。緊急事態宣言に伴う愛知県からの休業要請の解除を受けて、6月3日(水)からは教育上の質確保を前提に、遠隔授業も併用しつつ、対面型授業を実施しました。後期においては、文部科学省から、所定の場合には、対面型授業実施の際に、非対面の形式でも学生が受講できるよう要請されています。対面型授業の実施にあたっては、遠隔授業として同時に配信する方法または録画してオンデマンド配信する方法や、別途学修教材を用意してレポートを提出させる方法などを用いて、非対面の形式での受講もできるよう対応しています。

キャリア支援センターでの取り組み

キャリア支援センターでは新型コロナウイルス感染症対応に伴い、従来対面で行ってきた就職相談をウェブ面談で対応し、昨今増加傾向にあるオンライン面接の練習も行っています。また、前期3回の就職ガイダンスや、12月上旬に180社以上の企業が出展する業界研究セミナーをオンラインで実施し、コロナ禍における就職活動を支援しています。



キャリア支援専門員によるウェブ面談

学生への経済的支援

① 本学独自の5万円給付を実施しました

国等の経済支援制度を利用してもなお経済的に困窮する学生を支援するために、国が実施する「学びの継続のための学生支援緊急給付金」の推薦者を対象とした現金給付(5万円)を行いました。

② 本学独自の一時貸付を実施しました

新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に窮迫している学生に対し、国等の経済支援制度に申請し、支援を受けるまでの間の資金を一時的に貸し付けました。

「コロナ緊急学生支援募金」へのご支援をお願いします

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学生支援として、貸付金や支援金の制度を活用し、経済的理由により修学が困難な学生を応援する基金「名市大生みらい応援基金」の中に、「コロナ緊急学生支援募金」を立ち上げました。趣旨にご賛同いただける方のご支援をお待ちしております。



↑コロナ緊急学生支援募金は
こちらから

令和3年度 入学者選抜における 経済的負担軽減のための 入学検定料免除について

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況に置かれている受験生に対して、経済的負担を軽減し、広く受験の機会を確保できるよう、入学検定料を免除する特別措置を行います。

① 対象となる入試

令和3年度学部入学者選抜 一般選抜および学校推薦型選抜

② 措置内容

入学検定料(1万7千円)全額免除

③ 免除の対象者

住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学生(高等教育の修学支援新制度[大学等における修学の支援に関する法律]による給付型奨学金[入学金減免]の対象者)

「さくら基金」を活用し サーマルカメラを設置しました

新型コロナウイルス感染症対策のために、附属病院の「さくら基金」に皆さまからたくさんのご寄附をいただきました。このご寄附を活用し、正面玄関へのサーマルカメラ(※)2台の設置をはじめ、医療環境を充実させ、今後も感染症対策を徹底してまいります。

この場をお借りしまして、皆さまの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

※サーマルカメラは、人や物の表面の熱(赤外線エネルギー)を検知し、温度を計測して映像に映し出す機能を搭載したカメラです。



附属病院外来入口に設置された
サーマルカメラ



←さくら基金は
こちらから

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

名市大の新たな社会貢献

「名市大ボックス」シリーズを創刊!

2020年10月30日(金)、本学の新しい社会貢献のカタチとして、書籍シリーズ「名市大ボックス」を出版・発売しました。本学の教員が持つ知識、教養をまとめ、書籍化したものです。本学では、これまで市民向けにさまざまな講座を開講してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、多くが中止、延期となりました。人数の制限やオンラインでの開催などの工夫もされていますが、この逆境をバネに、より多くの方に学びの機会を届けるため、「本学ができることは何か」を考えた結果、書籍での発信を企画しました。12月現在、すでに1~4巻までが発売され、まずは「健康・医療」をテーマに、各分野の教員の記事をオムニバス形式で展開しています。今後も、様々な分野をテーマに取り上げ、シリーズ化していく予定です。本学の生協やお近くの書店、またはインターネットからもお買い求めいただけます。名市大一丸となって書き上げた渾身の力作、是非ご一読ください。

第1・2巻の発売後、以下の売り上げランキングで1位を獲得しました!

- 三省堂書店 名古屋本店(2020年10月25日~11月7日集計)
- 星野書店 近鉄パッセ店(2020年10月25日~11月21日集計)
- Amazon(大学・大学院部門 2020年11月9日ほか)



書店販売の様子(三省堂書店)



書店販売の様子(星野書店)



好評につき、2020年12月10日(木)に発売した第3・4巻に続いて、2021年4月以降の出版も予定しています。今後も「名市大ボックス」の展開にご注目ください!



「名市大ボックス」に関する問い合わせ先

名古屋市立大学 事務局学術課 産学官地域連携係
 TEL:052-853-8308 E-mail:shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp
 ←名市大ボックスの詳細はこちらから

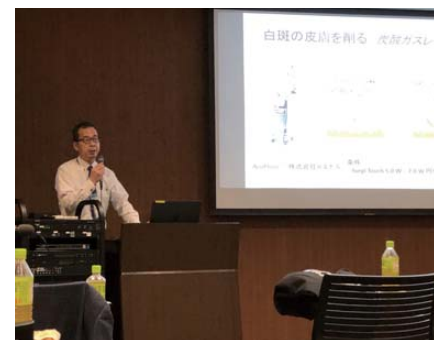
DATE 2020.7.5

医学部附属病院

臨床研究開発支援センター主催 市民公開講座

「白斑に対する培養表皮移植(再生医療)の応用」を開催

2020年7月5日(日)、JPタワー名古屋にて、附属病院 臨床研究開発支援センター主催の市民公開講座を開催しました。当日は、白斑の病気や治療に興味のある方20名に参加いただきました。本講座では形成外科の鳥山和宏教授が現在、株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(蒲郡市)とともに進めている白斑に対する治験の内容を中心に、再生医療一般および白斑に対する培養表皮を用いた再生医療の応用について講演しました。また、一般市民の方々に「治験」を知ってもらうために、治験の概要や治験に参加した際の注意点について、臨床研究開発支援センターの牧田升美臨床研究コーディネーターが講演をしました。



鳥山教授の講演の様子

大学院 薬学研究科

ヒトiPS細胞より分化誘導した細胞の安定供給を目指して ~分化誘導自動化装置の開発~

薬学研究科の松永民秀教授は、パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社と共同でヒトiPS細胞(*)の培養や分化誘導をする装置の開発に取り組んでいます。ヒトiPS細胞は、培養が難しく、良質かつ大量に供給することが課題となっています。この共同研究により、AIを利用したiPS細胞の良否判定機能や、自動でiPS細胞を分化誘導する機能を持つ装置の開発を目指しています。

*iPS細胞(人工多能性幹細胞)は一般的に再生医療への利用が知られていますが、新薬の探索・開発や疾患の原因究明などにも非常に有用な支援材料です。



↑分化誘導自動化装置

←開発中の実証機の運転の様子を収録した動画はこちらから

2020年 夏・秋のオープンキャンパス 開催

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、これまでのオープンキャンパス(以下、OC)とは開催方法を変更して実施しました。医学部では、2020年8月5日(水)、11月1日(日)に桜山キャンパスさくら講堂にて各世帯1名までの参加に限定したOCを実施。大学での学びの楽しさを体感する模擬授業や、名市大生による学生生活紹介などが行われました。薬学部では、10月17日(土)に田辺通キャンパス宮田専治記念ホールにてOCを実施。キャンパス見学や教員および名市大生による質問・相談コーナーなども設けられました。その他の学部では、それぞれ趣向を凝らした動画配信によるウェブOCを実施し、毎年事前予約ですぐに満席になる大人気の名市大OCを自宅で体験してもらう貴重な機会となりました。



模擬授業 実際の授業を体感!(医学部)



名市大生による「トークライブ」(総合生命理学部)

DATE 2020.9.25 - 2021.1.29

意欲ある高校生が大学での学びを体験

「高大連携授業」

本学では、意欲のある高校生に多様な「学び」の機会を提供し、本学の教育研究への理解と関心を深めてもらうための取り組みを進めています。その取り組みの一つである高大連携授業では、「自分の知識の幅や学問への視野を広げたい」、「進路選択の参考にしたい」など、将来への希望をもった高校生が受講しています。

2020年度は、2020年9月25日(金)から2021年1月29日(金)まで授業全15回および試験を実施。名古屋市内の高校生24名が、教養教育科目(「バイオサイエンス入門」または「琉球・沖縄の歴史・文化を識る」)を受講しています。なお、2018年度からは授業への出席が良好で期末試験に合格した場合には単位を認定しています。



授業の様子(バイオサイエンス入門)



授業の様子(琉球・沖縄の歴史・文化を識る)

DATE 2020.9.19

総合生命理学部

「知って楽しむ!

おもしろ科学実験教室!」を開催

毎年夏休みに開催している総合生命理学部と瑞穂区役所との連携事業「科学実験教室」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染者数が落ち着き始めた2020年9月19日(土)に延期し、参加募集人数を20名に絞って開催しました。小中学校の夏休みが短くなり自由研究に充てる時間も十分になかったと思われるが、その代わりとして少しでも貢献できていたら幸いです。コロナ禍での実施方法の検討や消毒の徹底など準備が大変な面もありましたが、子どもたちが実験している際の笑顔や驚きと「なぜだろう」と考えている表情を見ると、教員や学生も癒されました。



ドライアイスにシャボン玉でどうなる?

DATE 2020.8.21-10.9



講義風景(AI・IoT×個人情報)

都市政策研究センターが

「AI・IoT導入経営人材育成講座」を開催しました

2020年8月21日(金)から10月9日(金)までの間、名古屋市・名古屋工業大学との連携事業として、企業の経営者層を対象にAI・IoT導入経営人材育成講座(全8回)を開催しました。AI・IoTに精通した本学の各研究科の教員9名により、AIの基礎となる機械学習や個人情報保護の重要性、業学分野、音声認識分野、信号・画像処理の各分野におけるAI・IoTの導入事例など、AI・IoT導入の計画や検討に必要な基礎・応用知識を学ぶ多彩な講義を開講しました。熱心な受講者からは様々な質問が飛び交い、「大変参考になった」「貴重な機会をいただいた」との声も多く聞かれ、好評を博しました。

DATE 2020.10.21

「進化型実務家教員養成プログラム」シンポジウム開催

本学を中核校とするコンソーシアム(※1)により、2019年度から進めている「進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)構築事業」。そのシンポジウム「産業界と大学の架け橋を目指して～実務家教員養成プログラムの挑戦～」を、2020年10月21日(水)にオンラインで開催しました。実施委員長の経済学研究科 鶴飼宏成教授による基調講演の後、「産業界から見た実務家教員の可能性」をテーマに企業関係者から報告が行われ、実務家人材が教育界で活躍することの意義や大学と産業界の架け橋としての役割期待など、実務家教員も交えた濃密なディスカッションが行われました。TEEPでは今後受講生を受け入れ、リカレント教育(※2)の充実を目指した新しいチャレンジを続けて参ります。

※1 コンソーシアムとは、共通の目的のために活動する複数の組織の集まり

※2 リカレント教育とは、生涯にわたって教育と就労のサイクルを繰り返す教育制度

進化型実務家教員養成プログラム

TEEP
Training for Emerging Educators and Practitioners



↑ 鶴飼教授の基調講演の様子

←TEEPのホームページはこちらから

DATE 2020.7.22

名古屋市立大学×豊川市 連携協定を締結

2020年7月22日(水)、豊川市と連携協定を締結しました。締結式にご出席いただいた豊川市の竹本市長から「名古屋市立大学は、先に蒲郡市民病院と連携協定を結んでいるので、これからは三者でしっかりタッグを組んで地域医療に貢献していきたい」とのご挨拶があり、本学の郡理事長より「当院と豊川市民病院とのつながりの歴史は大変古く、本学の優秀な学生も研修医として豊川市民病院に行っている。市長のリーダーシップにより、更なる信頼関係の構築をお願いしたい」との挨拶がありました。今後、人的交流、施設の活用等の包括的な連携のもとに相互に協力し、大学教育の振興、研究活動の活性化、病院機能の向上および人材の育成に寄与していきます。



下段左から豊川市民病院 西田事業管理者、豊川市 竹本市長、本学 郡理事長を囲んで

DATE 2020.9.17

FD・SD講演会を開催しました

2020年9月17日(木)、京都大学高等教育研究開発推進センターより教育担当理事補の飯吉透教授をお招きし「大学教育のこれから：コロナ時代のオンライン・ICT活用教育を越えて」をテーマにご講演いただきました。他大学の取り組み事例などを通じてICT・オンラインの利用を前提としたこれからの大学教育のあり方について理解を深めることができました。

当日実施したアンケートでは「オンラインでの講義を前提に授業内容の吟味や提示方法などを再検討する必要がある」、「障害がある学生にも対応したICT活用についても検討が必要」などの意見が寄せられました。感染症の影響下においても教育の質を確保できるよう改善の取り組みを進めていきます。



オンラインで開催した講演会の様子

DATE 2020.8.3

イクボス宣言を行いました

2020年8月3日(月)、29名の管理職員が部局長会議にて、同時に「イクボス宣言」を行いました。イクボスとは「部下や同僚等の育児や介護・ワーク・ライフ・バランス等に配慮・理解のある上司」のことです。

本学では、これまで、ダイバーシティ推進本部を立ち上げ、「ダイバーシティ宣言」を発信して、男女共同参画や次世代育成支援をはじめとしたワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでまいりました。

この「イクボス宣言」を契機として、管理職員が自ら率先してワーク・ライフ・バランスの推進に努めるとともに、育児・介護などの事情を抱えている教職員のワークとライフのバランスが取れるような働きやすい職場環境を作っていきます。



本学のイクボス宣言

DATE 2020.6.1

医学部 医学教育分野別認証評価 適合の認定

医学部では、2019年10月に「医学教育分野別評価」を受審し、2020年6月1日(月)に日本医学教育評価機構(JACME)から「適合」の認定を受けました。(認定期間：7年間)

本学の優れた点は、「Scientific Writing and Presentation科目とコミュニティ・ヘルスケア卒前教育の実施」、「東部・西部医療センターを附属病院として活用」と評価されました。

一方、改善点としては、「卒業時コンピテンシー(※)に関して学修成果の達成に向かって学生がその能力を段階的に獲得していく評価の実施」、「重要な診療科で診療参加型臨床実習を十分な期間行う」、「学外病院との連携により臨床実習に必要な疾患を経験できるプログラムを構築」、「個々の教員がカリキュラム全体を十分に理解するためにFD等の充実」、「IR部門(2018年9月設置)の充実」など多数の助言を頂きました。今後は、改善に取り組み、毎年の年次報告書提出と7年後の受審へ向けて取り組みます。

※卒業時に修得しておくべき能力



Zoomを活用したチームリーダーミーティングの様子

「名市大未来プラン2021(仮称)」を策定中

本学では、2014年に「名市大未来プラン」を策定しました。策定から6年が経ち、大学を取り巻く状況が急速に変化したことを受け、本学が進むべき方向性を長期的な視点で示す道しるべとして、新たな「名市大未来プラン2021(仮称)」を策定することになりました。

現在、全学から教員、メディカルスタッフ、事務職員さらには来年度から附属病院になる東部・西部医療センターの方々など、およそ100名が参加し、9チームに分かれて同プランの検討を進めています。2020年度末に策定、公表する予定です。ご期待ください。



学生の活躍



卓展バーチャル会場におけるオープニングセレモニーの様相
(345人のアバターが参加)

芸術工学部 「卓展2020」初のオンライン開催!

本展は、芸術工学部の学生たちが自ら作品展示会を主催することで、学生の制作や学びを発信し、学内のクリエイティブ性の向上を図ることを目的とした展示会です。例年、北千種キャンパスでの実物展示でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年9月1日(火)から27日(日)までのオンライン開催となりました。

11の異なるデザイン卓が、ウェブ会場とバーチャル会場とに最適化した新しい展示を模索することで、従来の卓展を凌駕する規模感となりました。ニューノーマル時代に求められる学びと文化芸術活動の新しい形を学生たちが体現しました。また、高校生からの質問に学生が答えるオンラインイベントも会期中に開催しました。さらには、教員からの作品評価により、卓展参加学生に単位も付与されました。



↑「卓展2020」公式サイトはこちらから



卓展バーチャル会場での作品展示(抜粋):
モノト卓(左上下)、PHI卓(右上)、LUOTA卓(右下)



和みと薫りを持ち運ぶ(COCOCHI卓)
和の香りをモチーフに制作した風呂敷



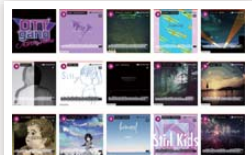
Scifi (FORMA卓)
「自分たちでつくる」にこだわったCG映像



卓展2020ポッドキャスト
「卓耳」収録風景
卓展運営11人の卓リーダー(交代制)と、作品の魅力を解説したポッドキャストを配信



Palmle(神器堂卓)
手形にして人々の思いを繋げる掲示板



Works(OTT gang卓)
DTMで制作した音楽を、世界にOTT発信

芸術工学部

啓発ドラマ「そなえる～東海豪雨から20年」を北区との協働プロジェクトにより制作!

2020年9月、名古屋市北区との協働プロジェクトで「水害に対する備え」をテーマとした映像コンテンツの撮影を行いました。名古屋市消防局などの協力のもと、多目的レスキュー車のレッドサラマンダー実機を使用し、また水難救助訓練施設などで撮影を行いました。演出を担当したのは芸術工学部3年 映像研究室の竹内花奈恵さん。内容は情報を正確に伝えるだけでなく、ミニドラマ演出やオリジナルテーマソング制作、ミニチュア撮影やグリーンバック合成、CG制作など芸術工学部の特徴を生かした映像表現に挑戦しました。また、撮影の様子は中日新聞や朝日新聞、CBCテレビなどに取材され、ニュース番組では即日放映されました。

完成作品は、名古屋市の公式動画サイト「なごや動画館 まるはっちゅ〜ぶ」で2020年12月に公開予定です。また、2021年2月には伏見ミリオン座で上映予定です。是非ご覧ください。



↑「まるはっちゅ〜ぶ」はこちらから



岡崎市にて「レッドサラマンダー実機」での撮影の様子
(窓にグリーンバックを張り、後に風景を合成)



映像スタジオでのミニチュア撮影の様子

南知多内海海岸での撮影
(海岸でライブピアノ演奏を収録)



令和元年度成績優秀者表彰(瑞秀賞)を行いました

令和元年度に優秀な成績を修めた学生を表彰しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っていた表彰式に代えて、各学部において学部長等から表彰状と後援会贈呈の記念品が授与されました。今後も学業、そして、さまざまな取り組みに励まれることを期待しています。

■医学部
伊藤 美玖
樽松 千紘
竹内 舜
豊田 佳代

■薬学部
梅村 悠太
佐藤 美月
澁谷 玲衣
高岸 優太
竹腰 祐斗
日比野 真也
平丸 航太郎

■経済学部
石川 愛梨
板垣 拓海
今井 菜月
岩元 愛
北村 実礼
佐藤 幹也
千賀 菜々子
花木 優登
三浦 由貴

■人文社会学部
石原 果林
川口 実紗
鈴木 千尋
角谷 実紅
瀬古 杏南
瀧本 美実果
村瀬 優香
森田 隼大

■芸術工学部
生熊 紗帆
石原 遥佳
犬飼 むつみ
今井 健人
岩崎 真大
朱 鳳亭
廣瀬 敬
前田 菜那
美和 杏果

■看護学部
高間 小百合
寺島 愛虹
名和 万貴

■総合生命学部
林 万柚子
山崎 杏実

※敬称略。学部ごと、五十音順に掲載。

学生の受賞

※学年は受賞時

医学部

医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2020東京 優秀演題賞

<受賞者>

医学部6年 中村 聡太さん
(写真左から2人目)

医学部6年 井田 千晶さん
(写真左から3人目)



薬学部 大学院 薬学研究科

令和元年度 日本化学会東海支部長賞

<受賞者>

薬学部 コロイド・高分子物性学分野
生命薬科学科4年
井岡 未優さん(写真左)

薬学研究科 薬品合成化学分野
博士前期課程2年
斎藤 彩有里さん(写真右)



薬学部 大学院 薬学研究科

令和元年度 日本生化学会中部支部支部長賞

<受賞者>

薬学部 病態生化学分野 薬学科6年
石塚 拓巳さん(写真左上)

薬学部 分子生物薬学分野
生命薬科学科4年
和田 万理子さん(写真右上)

薬学研究科 生命分子構造学分野 博士前期課程2年
齋藤 泰輝さん(写真下)



大学院 経済学研究科

2020 All-Japan Finance PBFJ SHARK TANK PITCH Event 2nd Runner-up Presentation AWARD

<受賞者>

経済学研究科 博士前期課程2年 山内 祥平さん
※経済学研究科 坂和秀晃准教授、渡邊直樹准教授との共同研究



芸術工学部

木の家設計グランプリ2020 20選

<受賞者>

芸術工学部2年 山路 大悟さん(写真右)
芸術工学部4年 村西 凱さん(写真左)



国際交流

ウズベキスタン共和国 特命全権大使の来訪

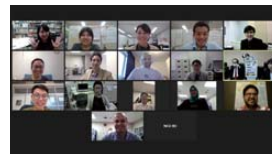
2020年7月21日(火)、ウズベキスタン共和国のガイラト ファジーロフ特命全権大使らが本学を訪問され、郡学長、横山副学長、医学研究科道川研究科長、薬学研究科 林研究科長、医学研究科 安井教授との懇談が行われました。ウズベキスタンの大学との学術交流協定締結に向けた話し合いに加え、新型コロナウイルス感染症の名古屋市および本学での状況や取り組みについて意見交換が行われました。今後、ウズベキスタン共和国にある複数の大学との交流が期待されます。



懇談の様子

CAFÉ TALKをオンラインで開催しました

本学の留学生が交流する機会として毎年開催している「CAFÉ TALK」。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、2020年10月22日(木)にZoomを利用しオンラインで開催しました。元国費留学生で、現在、本学 医学研究科 助教のホッサム ハッサン シャウキ モハメド先生によるキャリアプランについてのスピーチや、グループ分けでのフリートークが行われ、皆さん積極的に参加していました。入国規制により渡日できていない学生も参加し、キャンパスが異なる学生や他研究科の教員との交流といった、普段はなかなかできない交流の場となりました。



CAFÉ TALKの様子



シャウキ先生によるスピーチ

留学・海外体験フェアを オンラインで開催しました

学生が留学や海外体験について考えるきっかけを作ることを目的として毎年開催している「留学・海外体験フェア」。今年は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンラインで開催しました。2020年7月8日(水)に実施した初級編では、交換留学と私費留学の違いや、留学に必要な語学力などを紹介しました。8月12日(水)に実施した上級者編では、留学経験者による体験談の発表が行われました。オンラインでの開催となりましたが、約40名が参加し、質疑応答も活発に行われ、大変充実した内容となりました。



貿易大学(ベトナム)交換留学体験談の
スライド



ルートヴィクスハーフェン経済大学(ドイツ)
交換留学体験談のスライド

令和2年度 永年勤続職員表彰

※五十音順に掲載

永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆様へ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰



浅野 茂美
看護師(病)
支えて頂いた方々に、深く感謝致します。



浅野 知子
係長(病)
感謝の気持ちを忘れず精一杯頑張ります。



岡崎 智子
助産師(病)
優しい生殖医療看護と助産援助に精進します。



土屋 久美
看護師(病)
皆様に感謝申し上げます。



服部 隆宏
主査(病)
今後も、健康に留意し業務に尽力致します。



林 秀敏
教授(薬)
優秀な学生・教職員に囲まれて幸せです。



八代 律子
看護師長(病)
感謝の心を忘れず、日々精進いたします。



山内 郁子
看護師(病)
今後も健康に留意し、頑張りたいと思います。



吉田 一彦
教授(人)
同僚に恵まれ、充実した勤務ができました。

■20年勤続表彰

浅井 可奈子 看護師(病)

鵜川 真也 教授(医)

内山 綾子 看護師(病)

太田 孝一 係長(事)

荻須 佳代 看護師(病)

加藤 勝也 診療放射線技師(病)

佐藤 剛 准教授(医)

佐野 直子 准教授(人)

鈴木 伸宏 准教授(医)

野呂 沙耶香 看護師(病)

樋口 恒彦 教授(薬)

平田 雅己 准教授(人)

松本 佐保 教授(人)

矢野 久子 教授(看)

山内 靖子 看護師(病)

山田 敦 教授(人)

山本 陽子 教授(経)

※(事):事務局・学部事務室 (医):医学研究科 (病):医学部附属病院
(薬):薬学研究科 (経):経済学研究科 (人):人間文化研究科
(芸):芸術工学研究科 (看):看護学研究科 (理):理学研究科

令和2年度 学長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

医学研究科 准教授 **伊藤 由起**
医学研究科 准教授 **田中 智洋**
薬学研究科 准教授 **井上 靖道**
経済学研究科 准教授 **渡邊 直樹**

人間文化研究科 講師 **高橋 康史**
芸術工学研究科 講師 **大野 暁彦**
看護学研究科 准教授 **金子 典代**
理学研究科 准教授 **奥津 光晴**

名市大発高インパクト論文表彰／国際共著論文プラス1運動／トップ1%論文表彰

研究力の強化および国際的な評価の上昇に関する機運を高め、世界大学ランキングの上昇を目指すことを目的に表彰するものです。2020年度は従来の表彰に加え、トップ1%論文表彰を新設しました。

■名市大発高インパクト論文表彰

特に影響の高い論文を著した研究者を表彰

医学研究科(筆頭・責任) 准教授 **楠本 茂**
医学研究科(責任) 教授 **稲垣 宏**
薬学研究科(責任) 教授 **尾関 哲也**
経済学研究科(筆頭・責任) 准教授 **坂和 秀晃**
看護学研究科(筆頭・責任) 准教授 **小田嶋 裕輝**
理学研究科(責任) 准教授 **奥津 光晴**

■国際共著論文プラス1運動

国際共著論文数で特に顕著な業績を収めた研究者を表彰

医学研究科 教授 **高橋 智**
医学研究科 教授 **飯田 真介**
薬学研究科 教授 **牧野 利明**
芸術工学研究科 教授 **青木 孝義**
看護学研究科 教授 **樋口 倫代**
理学研究科 教授 **杉谷 光司**

■トップ1%論文表彰

出版年別のFWCI(当該論文が類似の論文と比較して、どの程度引用されているかを示す数値)が世界全体の上位1%に含まれる論文の著者のうち、特に顕著な業績を収めた研究者を表彰

医学研究科 教授 **大原 弘隆**
医学研究科 教授 **森田 明理**
医学研究科 教授 **上島 通浩**
医学研究科 教授 **赤津 裕康**
医学研究科 教授 **小椋 祐一郎**

2020年度 愛知県「消防団関係優良事業所」表彰

「名古屋市大学生消防団名古屋市立大学分団」の結成と活動への支援が、地元自治体の消防団活動への協力において他の模範となったとして、本学が愛知県より表彰されました。2020年11月9日(月)に愛知県庁にて行われた表彰式に、中山徳良 学長補佐が出席し、大村秀章 愛知県知事から表彰状を授与されました。今後も学生の活動支援を通じて、地域の防災活動に貢献していきます。



大村知事から表彰状を授与された中山学長補佐

PRIZE 受賞

※受賞期間:2020年4月1日~2020年9月30日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科

International Journal of Urology
TOP DOWNLOADED PAPER
2018-2019



腎・泌尿器科学分野
講師
田口 和己

■薬学研究科

2020年度
日本薬学会東海支部
学術奨励賞



薬品合成化学分野
助教 ※受賞時
山越 博幸

令和2年度
日本生薬学会
学術貢献賞



生薬学分野
教授
牧野 利明

■経済学研究科

2020 All-Japan Finance PBF
SHARK TANK PITCH Event
1st Runner-up Presentation AWARD



経営学専攻
准教授
坂和 秀晃



経営学専攻
准教授
渡邊 直樹

令和2年度 秋の叙勲

生化学や食品化学等における研究業績等により、このたび瑞宝章を受章されました。ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

瑞宝小綬章 受章者：新美 康隆

名古屋市立大学名誉教授
(元名古屋市立女子短期大学教授)



開学70周年記念事業へのご寄附ありがとうございました

■個人

- 100万円以上 黒野 幸久 様
- 10万円以上 井上 靖道 様、因田 義男 様、大矢 進 様、小澤 良之 様、木藤 新一郎 様、木村 和哲 様、小山 勝志 様、酒々井 眞澄 様、竹内 廣 様、谷本 英一 様、中西 良一 様、濱野 高行 様、原 眞咲 様、平田 修 様、松川 則之 様、水野 誠 様、村井 清 様、森田 潤 様、山中 淳平 様、山村 壽男 様、山本 喜通 様、横井 基夫 様
- 5万円以上 安藤 重満 様、石原 月代 様、河合 米子 様、鬼頭 詔次 様、木下 春男 様、後藤 利彦 様、長縄 義英 様、立木 彰一 様、山本 正康 様
- 1万円以上 石原 大二郎 様、今枝 悦子 様、神田 裕文 様、河野 久成 様、小柳 慶孝 様、清水 一夫 様、竹下 誠 様、田島 謙二 様、田中 喜夫 様、新家 一正 様、能登原 盛弘 様、橋本 直樹 様、福本 理 様、松村 正 様、森山 昭広 様、山内 正彦 様、山野 泰司 様、山本 謙一 様、山本 雅美 様、渡邊 清子 様、渡邊 浩 様
- 5千円以上 足立 義久 様、岩瀬 達郎 様、大島 裕隆 様、大橋 律子 様、壁谷 亜朱 様、河本 義宣 様、小坂 英雄 様、小島 光男 様、田中 敬久 様、野場 達寛 様、武藤 嘉宏 様、若山 孝熙 様
- 非公表 青柳 忍 様、青山 峰芳 様、明石 恵子 様、阿知波 好博 様、天池 雅彦 様、安藤 操 様、安部 賀央里 様、石川 敦 様、石田 智則 様、伊藤 佐生智 様、稲垣 敦子 様、内山 凱登 様、王 紅杰 様、大島 忠之 様、大槻 和彦 様、大野 桃香 様、荻野 浩幸 様、奥田 勝裕 様、小黒 智恵子 様、寛 理恵 様、香月 富士日 様、加藤 洋一 様、金子 奈穂子 様、神谷 武 様、木村 鏡子 様、清原 秀史 様、熊谷 彩 様、郡 健二郎 様、佐々木 昌一 様、佐野 秀一 様、澤田 雅人 様、澤本 和延 様、白井 直洋 様、杉浦 慶一 様、鈴木 賢一 様、鈴木 陽子 様、妹尾 恭司 様、宗宮 信賢 様、高取 良二 様、高橋 智 様、竹内 宏之 様、土屋 隆 様、頭金 正博 様、朽久保 邦夫 様、中野 重治 様、中濱 和彦 様、中村 敦 様、名倉 芳夫 様、丹羽 則和 様、野田 弘治 様、服部 光治 様、林 秀敏 様、平嶋 尚英 様、藤井 修照 様、水野 勇 様、三宅 正嗣 様、宮崎 真粧美 様、武藤 順子 様、武藤 允人 様、湯川 泰 様、吉田 和生 様

■団体

- 200万円以上 有限会社むらまつ 代表取締役 村松 敬介 様
- 100万円以上 名古屋市立大学人文社会学部同窓会 瑞桜会 様
- 10万円以上 株式会社 愛豊電機 様、名古屋市立大学 循環器内科学 様、日本空調システム株式会社 様
- 非公表 医療法人 豊城会 様、オーエスジー株式会社 様、株式会社 豊成テクノ、大同特殊鋼株式会社 様、トヨタ紡織株式会社 様、令和2年度瑞山会総会参加者有志 様

感謝状贈呈式が行われました

開学70周年記念事業に対して、高額の寄附をいただきました。そのご厚意に対し、郡理事長から感謝状が贈呈されました。



蒲郡市民病院 様



土屋 隆 様



医療法人 紫陽 様



名古屋市立大学看護学部同窓会 看桜会 様



特定医療法人 衆済会 増子記念病院 理事長 両角 國男 様



株式会社 豊成テクノ 様

寄附顕彰

大学振興基金・名市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人

- 10万円以上 鷺見 烈 様
- 5万円以上 加藤 典夫 様
- 1万円以上 酒井 優弥 様
- 非公表 安藤 隆彦 様、五十嵐 菜 様、岡田 太郎 様、小倉 直也 様、小沢 志江子 様、風間 裕子 様、久保 忠彦 様、近藤 みゆき 様、佐野 秀一 様、新海 佳子 様、鈴木 賢一 様、田中 雅子 様、玉置 紀子 様、土森 道雄 様、野村 康弘 様、服部 和宏 様、橋岡 俊樹 様、林 俊文 様、間野 修平 様、宮治 真 様

■団体

- 5万円以上 日本空調システム株式会社 様

名市大生みらい応援基金

(コロナ緊急学生支援募金を含む)

■個人

- 10万円以上 石原 治 様、中田 英雄 様
- 5万円以上 荒木 一郎 様、加藤 典夫 様、吉田 和生 様
- 1万円以上 久保 裕之 様、森園 幸太郎 様
- 5千円以上 樋澤 吉彦 様
- 非公表 明石 恵子 様、伊藤 恭彦 様、郡 健二郎 様、郡 洋子 様、新海 佳子 様、丹羽 則和 様、林 秀敏 様、堀本 恵子 様、米倉 孝明 様

感謝状贈呈式が行われました

コロナ緊急学生支援募金に対して、高額の寄附をいただきました。そのご厚意に対し、郡理事長から感謝状が贈呈されました。



株式会社 ナオツー 様

※五十音順。2020年4月1日から10月1日までに寄附をいただき、公表に同意された方。※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

稲田剛毅特任教授が 学長特別補佐に就任

2020年7月1日付で、稲田剛毅氏が特任教授として文部科学省から招へいされ、学長特別補佐(研究・産学官イノベーション)に就任しました。

就任ごあいさつ

環境が大きく変化する状況は、それまで有効であった定番が通用しなくなる一方で、新旧を問わず、これまで目の目を見なかったやり方が、大躍進をするチャンスでもあります。戦国時代、尾張からのイノベーションは、日本を席捲しました。ポストコロナの状況は、間違いなく、下克上の大競争時代です。知という槍一本で今度は世界を相手にどこまで戦えるか、皆さんと一緒にワクワクしながら社会貢献することを楽しみにしています。本部棟3階に常駐しております。プロジェクト形成前のアイデアや、もわっとしたコンセプト段階から一緒に考えたいと思いますので、お気軽にお声がけください。



イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの中止などについて

掲載されている情報は、2020年12月1日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止や内容変更となる場合がございます。最新情報は各ウェブサイトをご覧ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
1.14 THU 2021	なごや看護生涯学習公開講演会 テーマ:「ワーク・エンゲイジメントで仕事にやりがい! 職場も活き活き!」 講演者: 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 島津 明人 氏 内容: 組織におけるメンタルヘルス対策が目指す新しいテーマとして注目されているワーク・エンゲイジメントについて講演します。	18:00~19:30 ウェブ開催(Zoomによる遠隔ライブセミナー形式) 費用: 無料 定員: 300名 対象: 看護職者、保健医療福祉関係者	インターネット(名古屋電子申請サービス)またはメールのいずれかでお申し込みください。詳細はウェブサイトをご確認ください。 https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/ TEL: 052-853-8042 メール: n.center@med.nagoya-cu.ac.jp
2.11 THU	「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」特別講演会 テーマ:「より良い慢性疼痛治療をひとりでも多くの患者さんに届けるために」 講演者: 愛知医科大学 学際的痛みセンター 教授 牛田 享宏 氏	13:30~16:30 オンライン開催 費用: 無料 対象: 医療従事者	ウェブサイトの申込フォームよりお申し込みください。詳細はウェブサイトをご確認ください。 http://ncu-itami.com/ TEL: 052-853-8077 E-mail: manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp
2.21 SUN	名古屋市立大学交流会 令和2年度 総会・講演会 講演者: 原 晋 氏 テーマ:「フツの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉」	開場: 14:30 総会・講演会: 15:00~17:00 名古屋マリオットアソシアホテル 費用: 無料 定員: 150名 対象者: 同窓生、現・旧教職員、学生など本学関係者	交流会HP、メール、またはFAXにてお申し込みください。 交流会HP: http://www.koryukai.jp/ メール: koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp 申込期限: 2021年1月31日(日) ※定員に達し次第、受付を終了いたします。



教員著書・発行者紹介



「転換期・名古屋の都市公共政策 リニア到来と大都市の未来像」

編著者: 人間文化研究科 教授 伊藤 恭彦
人間文化研究科 教授 小林 直三
人間文化研究科 准教授 三浦 哲司

出版: 2020年9月 ミネルヴァ書房



「ダブル・ライフを生きる(私) 家族に犯罪者をもつということ」

著者: 人間文化研究科 講師 高橋 康史

出版: 2020年2月 晃洋書房



「教育効果を可視化する 学習科学」

著者: ジョン・ハッティ、グレゴリー・イエーツ
訳者代表: 人間文化研究科 教授 原田 信之

出版: 2020年8月 北大路書房



「祖父とあゆむヒロシマ 今では言える、自由に。」

著者: 2015年度 人文社会学部 国際文化学科 卒業 愛葉 由依

出版: 2019年5月 風媒社

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ事務局企画広報課までお寄せください!

▶▶▶ E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp